

全学生に貸与のiPad®を活用、 学内でも同様のサービスで 証明書発行を可能に。

千葉工業大学さまは、証明書発行をコンビニエンスストアだけではなく、大学キャンパス内でも同じ仕組みで行えるよう「証明書発行サービス」と連携した発行機を導入しています。既にICT教育の充実をめざして全学生にiPad®を貸与しているため、戸惑いもなく、サービス導入当初から多くの学生が利用しています。

また、発行機の設置台数を削減しましたが、操作も簡単でスムーズに印刷できるため、証明書の発行枚数がピークとなる新学期も問題なく迎えることができました。更に現金による

* iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。



プロフィール | 私立工科大学で最も長い歴史を有し、5学部17学科、5研究科15専攻を開設しています。「世界文化に技術で貢献する」という建学の精神のもと実践的な学びを重視し、新しい時代の理工系人材を育成します。

発行手数料の決済がなくなったことで、職員さまの業務負担も軽減することができ、従来と比べ短時間且つ大学以外の場所で証明書を発行できるため全国にいる多くの卒業生にもご利用いただいております。

導入されたお客さまの声

「証明書発行サービス」の導入により、ICT教育の充実とコロナ対策の実現

■新型コロナウイルス発生時には 証明書のコンビニ発行はすでに浸透していた

千葉工業大学は、学生数約1万人の大規模大学です。従来の証明書発行方式のままだとコロナ禍の入構制限時には証明書の郵送対応に職員の稼働が大幅にかかり、学生も証明書の取得に日数を要するという状況が考えられました。しかし、本学では、学生及び卒業生のサービス向上を目的に2018年4月からいち早く「証明書発行サービス」を導入していたことにより、新型コロナウイルス感染症の状況が深刻になる2020年4月頃には、証明書の申請がWeb化され、コンビニ発行が全体の約4割と学生の間ではすでに当たり前になっていました。

さらに、全学生にiPad®を貸与していたことで円滑にWEB申請を利用していたが、入構制限期間でもタイムリーに証明書を取得していただくことができました。



■コロナ禍の影響はほとんど無く就職活動に尽力

実際にコンビニ発行が軌道に乗ることで、コロナ禍でも職員は稼働を取られることなく、他の業務に時間をさくことが可能となりました。さらに、学生もコンビニエンスストアで24時間365日好きなタイミングで取得できたので、証明書発行に関して、コロナ禍の影響はなく就職活動などに励んでもらうことが可能となりました。

■キャッシュレスによるコロナ対策にも

また、コロナ禍でコンビニ発行の利用率が上がったことにより、決済手段の拡充も検討しています。社会的なニーズに合わせて4月からPayPay、LINE Pay、クレジットカード決済を導入します。支払いが完全にキャッシュレス化することにより、一層の利便性向上をめざしています。また、決済の効率化だけでなく会計時の接触機会が発生しないことも今後の感染症対策につながると考えています。

* PayPayは、Zホールディングス株式会社の登録商標です。

* LINE Payは、LINE株式会社の登録商標です。